

③事例研究

課題：あなたが担当した利用者の問題をひとつ取り上げ、①なぜその問題を取り上げたか、②どのような支援を提供したか（支援内容や役割分担、連携を具体的に示すこと）、③その支援によって利用者の問題がどう変わったか（客観的な事実を示すこと）、④その支援は有効だったか（根拠を示して考察すること）の4点について論述しなさい。

支援施設のD園は、老朽化が進んだ施設を建て替え、新施設になったユニット形式の施設である。6ユニット各10名で、男性28名、女性32名利用者が生活している。以前は平屋一戸建ての施設だったが、新施設は2階建ての施設である。新施設では、重度、軽度と分けるのではなく、男女で1階と2階をわけての生活をスタートした。ユニット形式となり一人ひとり個室対応となり、利用者は自分の部屋ができたことに大変喜んでいた。それとは逆に職員たちは新しい形式になったことで、不安や戸惑いの声が多く上がり、今後どのような支援方法をしていくべきか、多くの課題ができたのである。課題内容は、自閉症利用者への対応、ユニット形式になり多くの視界ができたこと、利用者の環境の変化による精神的な部分での対応などである。

中でも、重度の自閉症利用者への対応が最優先された。環境の変化による行動障害への対応。旧施設から新施設へ引っ越す際、施設内に入ることができるのか、引っ越す以前かの行動分析が必要であり、どのような支援方法で進めていくのかが課題となつた。

本事例は、28歳の自閉症男性Nさんである。平成〇年に入所する際、施設に入所することの意味が理解できず、施設内に入るのに数ヶ月の期間を要したことがある。他害、自傷はほとんどないが、行ったことのない場所は極度に嫌がる傾

向がある。また、一日の流れは絵カードで示すのではなく、他の利用者と同様朝礼で伝えることでき、理解できる。言葉を話すことはできないが、話している内容を少しは理解できるようである。

まず、新施設へスムーズに移動するために何が効果的であるかミーティングを開いた、多くの職員の意見を聞くことにより、色々な方法が提案され、多数の支援方法を考えることができたが、その反面、何が一番Nさんにとって効果的であるか絞るのに時間がかかった。結果一つの方法をとるのではなく、数個の方法を取り入れることにした。まずははじめに、取り組んだのは、絵カードで説明からすることにした。しかし、数十回試したところ、Nさんには理解できていないことがわかつた。次に、建設中の新施設の写真を撮り、写真で説明する方法を選んだ。絵カードの時とは違い、写真に興味を示してはいたが、それが新しい居住空間だと理解するまでには至らなかつた。その後も効果があるのでないかと思われる方法に取り組んだが、すべて効果を得ることができなかつた。そんな中一番効果が得られたのが、新しい施設にNさんと職員が一緒に行き、建物を目の前に説明する方法であった。行った当初は建物に近づくこともできなかつたが、毎日行き言葉で説明することにより、変化が現れた。また、新施設を理解している他の利用者数人と同行することにより、普段の施設での生活と同じよ

知的障害援助専門員養成通信教育 優秀レポート

うな空間をつくることにより、敷地内まで誘導することに成功した。その後、新施設へ移動するまで毎日行われた。

結果、引っ越し当日は一番最後ではあったが、施設内まで入ることができた。

今回の分析で、Nさんには絵カードや写真での理解してもらうのではなく、その場所まで行き、言葉と実物の建物の説明をすることにより、理解できることができた。

本事例は、新施設へのスムーズな移動のために行われたが、今後の新しい支援方法が生み出された瞬間でもあった。しかし、その反面施設内への移動はスムーズに行くことができたが、その後の施設での生活では大きな問題が生じた。ユニット形式になったことにより、以前は4人部屋の空間が、新施設では1人部屋でベッド対応だと理解できなかったのである。現在Nさんは、自分の部屋で睡眠をとることができず、簡易ベッドを用意しデイルームで睡眠をとっている。しかし、他の利用者がトイレに行くたびに目が覚めてしまい、夜間睡眠障害を起こしている。私たち職員は新施設への移動支援だけを考え、移動

した後の先を見据えた支援方法の分析までする必要があったのである。今現在取り組んでいる支援方法は、簡易ベッドをNさんの居室に少しずつずらし、最終的に自分の部屋であると認識してもらう方法である。少しずつではあるが、効果も出ている。

今回のことでの一つの分析だけではなく、自閉症の人たちのことを最大に理解し、行動パターンの分析、情報収集する必要があった。今後の課題として、自閉症の人たちへの様々な行動パターンの分析を分析し、自閉症の人たちが安心して生活できる空間を、支援することが必要だと思われる。

講評 :

課題を正しく理解し、指示に従って4つの内容に分けて解りやすく書かれている。うまく対応した事例として高く評価できる。